

みずほCustomer Desk Report 2023/08/09号 (As of 2023/08/08)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	143.07
TKY 9:00AM	142.55	1.1005	156.92	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	143.49	1.1011	157.71	1.2785	0.6573
SYD-NY Low	142.42	1.0930	156.37	1.2785	0.6580
NY 5:00 PM	143.37	1.0956	157.11	1.2685	0.6497
				1.2749	0.6545

	終値	(前日比)	終値	(前日比)
NY DOW	35,314.49	▲ 158.64	日本2年債	0.0100%
NASDAQ	13,884.32	▲ 110.07	日本10年債	0.6100%
S&P	4,499.38	▲ 19.06	米国2年債	4.7588%
日経平均	32,377.29	122.73	米国5年債	4.1134%
TOPIX	2,291.73	7.80	米国10年債	4.0271%
シカゴ日経先物	32,335.00	▲ 90.00	独10年債	2.4400%
ロンドンFT	7,527.42	▲ 27.07	英10年債	4.3815%
DAX	15,774.93	▲ 175.83	豪10年債	4.0570%
ハンセン指数	19,184.17	▲ 353.75	USDJPY 1M Vol	9.50%
上海総合	3,260.62	▲ 8.21	USDJPY 3M Vol	9.94%
NY金	1,959.90	▲ 10.10	USDJPY 6M Vol	9.60%
WTI	82.92	0.98	USDJPY 1M 25RR	▲0.83%
CRB指数	279.23	0.04	EURJPY 3M Vol	9.93%
ドルインデックス	102.53	0.48	EURJPY 6M Vol	9.79%
			Yen Call Over	0.16%
				0.07%

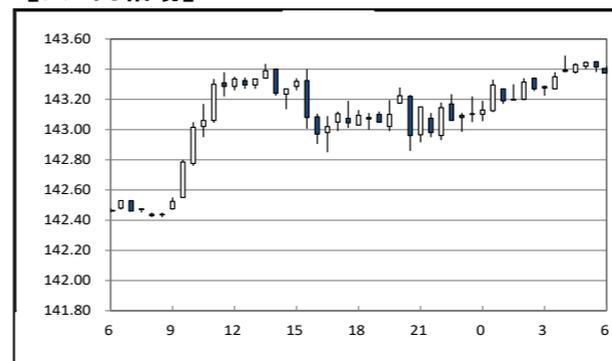
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月8日	09:30	豪 ウェストパック消費者信頼感指数	8月 81	-
	12:08	中 輸出(前年比)	7月 -14.5%	-13.2%
	12:08	中 輸入(前年比)	7月 -12.4%	-5.6%
	12:08	中 貿易収支	7月 \$80.60b	\$70.00b
	21:30	米 貿易収支	6月 -\$65.5b	-\$65.0b

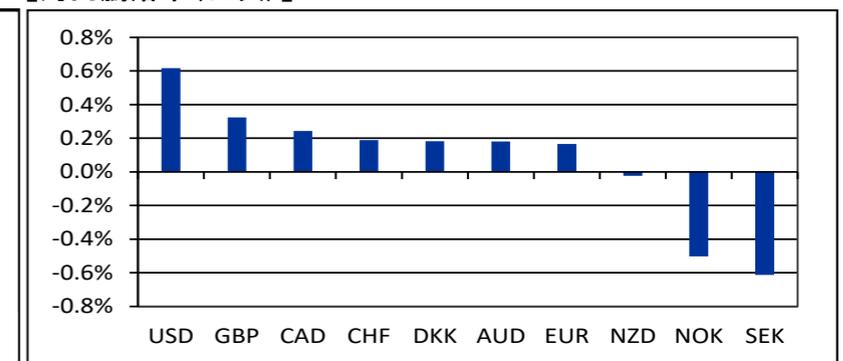
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月9日	10:30	中 CPI(前年比)	7月 -0.4%	0.0%
	10:30	中 PPI(前年比)	7月 -4.0%	-5.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	142.50-144.00	1.0900-1.1020	156.00-157.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は上昇した。朝方発表された毎月勤労調査をうけた実質賃金下振れが日銀の緩和継続期待を高め、円売りが強まった。中国貿易統計の弱さもドル買いをサポート。海外時間には中国不動産開発業者の不履行や伊銀行課税のHLIにリスクオフの流れが強まり143円割れとなる場面があったものの、日銀緩和継続期待との円売りリスクオフのドル買いで、結局143円半ばまで上昇してクローズ。
本日もドル円は底堅い動きが継続すると予想。中国インフレ指標をうけてドル買いが強まるとドル円は上昇しやすいか。基本的には明日に控える米7月CPI待ちの相場。

東京	東京時間のドル円は142.55レベルでオープン。オープン後から株式市場の堅調な推移を背景としたリスクオン地合いやUSDCNHの上昇につられて、仲値近辺には143円を突破。その後もじりじりと水準を上げ、一時143.43まで上値を伸ばすも、引けにかけてやや水準を下げ、143.08レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、143.08レベルでオープン。全般にドル高だったが、欧州株が弱含む中で円高も並行。ドル円は143.08レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1000レベルでオープン。イタリアの銀行に追加課税とのイタリア当局のヘッドラインに銀行株主導で株安。先週の米雇用統計後のドル下落を戻す形でユーロが下落し1.0943レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は142円台半ばでスタート。アジア時間では、本邦6月実質賃金総額が前月比で下げ幅を拡大している内容を受け、日銀による政策修正観測が後退し、円売りが優勢となる。その後、中国7月輸出指数が予想より悪化し、中国経済の先行きを懸念したドル買いも相まって、143.43まで上昇する。その後143.20付近を挟んだ推移が続き、143.08レベルでNYオープン。朝方に発表された米6月貿易収支が2か月連続で赤字幅を縮小した内容や、前日に米格付け会社による米地銀への格下げなどを背景に、リスク回避のドル買いが強まり、143.34まで上昇する。午後ドル高の流れが続き、143.49まで続伸する。その後も高値圏での動きが続き、143.37レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.10台前半でスタート。欧州時間ではイタリア当局が金融機関への「超過利潤」に対する予想外の課税を承認した報道が嫌気され、売りが優勢となり、じり安で推移し、1.0943レベルでNYオープン。午前中は手がかり材料を欠く中、1.0930まで値を下げる。その後小幅反発し、1.0950付近まで戻す。午後は1.0960付近で動意乏しい推移が続き、1.0956レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 伊藤・松木